

平成29年2月28日
九州地方整備局

「防災・減災シンポジウムinくまもと」を開催します。

～防災教育について考える～

平成28年4月熊本地震の発生や平成24年7月九州北部豪雨から5年の節目を迎えるにあたり、群馬大学の片田敏孝教授らをお招きして、主体的に防災行動のできる人材育成と子供たちの生き抜く力を育む視点に立ったシンポジウムを下記のとおり開催いたします。
本シンポジウムでは、これまで防災教育に従事された方の取組や経験を共有し、今後の防災教育促進のきっかけとなることを目指します。

■開催日時等

- 1)開催日時：平成29年3月5日（日）13:00～17:00
- 2)開催場所：熊本市国際交流会館6・7階ホール
熊本県熊本市中央区花畑町4番18号
- 3)参加費等：参加費無料

■主催：九州地方整備局

共催：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、北九州市、福岡市、熊本市、九州経済連合会、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会

■プログラム：別紙参照

- 参考 本シンポジウムは、九州地方整備局と九州各県、政令市、九州経済連合会と連携して取り組んでいる「新たなステージに対応した防災・減災キャンペーン～行政・企業・地域住民の防災意識改革を促進～」の一環として開催しております。

【問い合わせ】国土交通省九州地方整備局

水災害予報センター長 鶴崎 秀樹（内線 3521）
水災害対策専門官 的場 孝文（内線 3522）
TEL：092-471-6331（代）
092-707-0110（直通）

第2回 防災・減災シンポジウム inくまもと ～「防災教育」について考える～

日時：平成29年3月5日（日）13時00分～17時00分（予定）

会場：熊本市国際交流会館6・7階ホール（熊本市中央区花畑町4番18号）

～次 第～

1. 開会 (13:00～)
九州地方整備局長 小平田 浩司
2. 来賓挨拶
熊本県知事 蒲島 郁夫
熊本市長 大西 一史
3. 基調講演 (13:10～)
「想定外を生き抜く力を育む」
片田 敏孝（群馬大学大学院教授）

「川内川での水防災学習プログラム策定の取組」
黒光 貴峰（鹿児島大学准教授）
4. パネルディスカッション ～生きる力を育むために～ (15:10～)
コーディネーター 片田 敏孝（群馬大学大学院教授）
パネリスト 竹内 裕希子（熊本大学准教授）
黒光 貴峰（鹿児島大学准教授）
宇留嶋 政浩（福岡県直方市立中泉小学校主幹教諭）
平 千力（鹿児島県さつま町教育委員会学校教育指導監）
佐藤 克英（九州地方整備局 河川部長）
5. 閉会 (17:00)



平成24年7月 九州北部豪雨 熊本県白川流域の状況

**参加
無料**

第2回 防災・減災シンポジウム inくまもと

～「防災教育」について考える～

九州地方整備局では、近年の雨の降り方が局地化・集中化・激甚化していることをふまえた取り組みについて、九州各地へ広く発信し、企業・個人の防災・減災意識の向上を図る活動を行っております。

本年度は、「主体的に防災行動の出来る人材」を育てる観点で、「防災教育」をテーマに防災・減災の取り組みを啓発・推進していきます。



防災教育の授業風景 (鹿児島県薩摩郡さつま町)

日時：**2017年3月5日(日)12時開場** 会場：**熊本市国際交流会館 6・7階ホール**
〒860-0806 熊本市中央区花畑町4番18号

お申込みはWEBから 下記URLへアクセスして必要事項を記入の上お申し込みください。

<http://www.qsr.mlit.go.jp/n-kawa/bousai/symposium>

国土交通省 九州地方整備局 河川部 水災害予報センター TEL. 092-707-0110

○お申し込み多数の場合は抽選の上、ご登録いただいたメール宛にご連絡いたします。当選の発表はメールのご連絡をもって代えさせていただきます。○ご記入いただいた個人情報は、ご本人の承諾なく、本シンポジウムの実施目的以外には使用いたしません。

申込締切 **2月24日(金)**



シンポジウム申込サイト

新たなステージに対応した防災・減災キャンペーン



水災害は
新たなステージへ！
「減災・九州」

第二回 防災・減災シンポジウム inくまもと

～「防災教育」について考える～

基調講演

「想定外を生き抜く力を育む」



群馬大学大学院 教授
片田 敏孝氏

災害への危機管理対応、災害情報伝達、防災教育、避難誘導策のあり方等について研究するとともに、地域での防災活動を全国各地で展開している。特に、釜石市においては、平成16年から児童・生徒を中心とした津波防災教育に取り組んでおり、地域の災害文化としての災いをやり過ごす知恵や災害に立ち向かう主体的姿勢の定着を図ってきた。平成24年には、防災の功労者として2つの内閣総理大臣表彰を受賞している。

また、内閣府中央防災会議や中央教育審議会をはじめ、国・外郭団体・地方自治体の多数の委員会、審議会に携わり、研究成果を紹介しながら防災行政の推進にあたっている。主な学会活動として、日本災害情報学会副会長、日本自然災害学会理事がある。

「川内川での水防災学習プログラム策定の取組」



鹿児島大学 准教授
黒光 貴峰氏

学校教育における教材開発、学校と地域の連携、地域における住教育に関する研究、防災教育等に従事。川内川水防災河川学習プログラム検討会の委員として、水防災学習プログラムの開発及び川内川流域における水防災教育の普及に尽力。また、鹿児島市防災教育推進委員として防災ノートの開発に携わる。

パネルディスカッション

テーマ

「生きる力を育むために」

災害時に主体的な防災行動をとることができる人材を育てるために、基調講演の片田氏、黒光氏を加え、教育現場において、防災教育を実践されている方々を招きパネルディスカッションを実施します。

コーディネーター 片田 敏孝氏 (群馬大学大学院 教授)

パネリスト 黒光 貴峰氏 (鹿児島大学 准教授)

竹内 裕希子氏 (熊本大学 准教授)

宇留嶋 政浩氏 (福岡県直方市立中泉小学校 主幹教諭)

平 千力氏 (鹿児島県さつま町教育委員会 学校教育指導監)

佐藤 克英氏 (九州地方整備局 河川部長)

参加無料

日時：2017年3月5日(日)12時開場

会場：熊本市国際交流会館 6・7階ホール 〒860-0806 熊本市中央区花畑町4番18号

主催：国土交通省九州地方整備局

共催：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、北九州市、福岡市、熊本市、九州経済連合会、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会

後援：九州河川協力団体連絡会議、西日本新聞社、佐賀新聞社、長崎新聞社、熊本日日新聞社、大分合同新聞社、宮崎日日新聞社、南日本新聞社、日刊建設工業新聞社、日刊建設通信新聞社、九建日報社

お申込みはWEBから 下記URLへアクセスして必要事項を記入の上お申し込みください。

<http://www.qsr.mlit.go.jp/n-kawa/bousai/symposium>

国土交通省 九州地方整備局 河川部 水災害予報センター TEL. 092-707-0110

○お申し込み多数の場合は抽選の上、ご登録いただいたメール宛にご連絡いたします。当選の発表はメールのご連絡をもって代えさせていただきます。○ご記入いただいた個人情報は、ご本人の承諾なく、本シンポジウムの実施目的以外には使用いたしません。

申込締切 2月24日(金)



シンポジウム申込サイト

新たなステージに対応した防災・減災キャンペーン



水災害は
新たなステージへ!
「減災・九州」